

令和4年大磯町議会

3月定例会総括質疑（2月21日）

質問議員	質問事項
<p>1 2番 吉川 重雄議員 (40分) 9:05~9:45</p>	<p>1. 令和4年度当初予算案の審議にあたり、町長の施政方針が行われた。その中で、「中学校給食」について、新たな取組みを進めていくと言われているが、町長の公約である「中学校給食の実現」と言えるのか。詭弁ではないか。</p> <p>(1) 弁当を持参することが難しい生徒に対して、希望注文制で弁当を提供すること。</p> <p>(2) コロナ禍で保護者負担の軽減のため、町立中学校の全生徒に対して学校昼食費の補助として、生徒一人当たり300円を支給すること。</p> <p>これらが公約で言っている「中学校給食」と言えるのか。町長の見解を問う。</p> <p>2. 「先日、東海大学医学部附属大磯病院が来年3月より医療法人徳洲会に事業継承されることが公表された。</p> <p>町として、新病院が引き続き地域医療・中核としての役割を担っていくよう、学校法人東海大学や医療法人徳洲会に対し要請していく」と言われたが、そのような対応で町民の皆さんが安心して医療が継続して受けられると思うか。見解を問う。</p>
<p>2 10番 飯田 修司議員 (40分) 9:45~10:25</p>	<p>新庁舎建設について、案の段階で場所の問題を少し時間をかけてでも、町民の意見を一度まとめてみる必要があるのではないか。</p> <p>(1) 交通安全対策の視点で庁舎出入口付近の問題</p> <p>(2) 津波シミュレーションの結果による津波対策の問題について進め方を問う。</p>
<p>3 5番 吉川 諭議員 (40分) 10:40~11:20</p>	<p>施政方針において町長は、例年と同様、5つの重点的取り組みにDXの活用を加えて令和4年度予算を編成したと述べた。まず施政方針の中で町長が強調した、これまでに町民との間に築いた「信頼」と「つながり」について見解を問いたい。次に、力を注ぐと述べた「カーボンニュートラル」に向けた取組みについて伺う。</p> <p>(1) 「信頼」について</p> <p>包括支援センターの機能不全による利用者の心配、大磯幼稚園のこども園化・新庁舎建設場所・公共施設の統廃合についての町民の心配、中学校給食の早期実現を期待する保護者の心配、こうした声に正面から応えてこそ信頼は築かれると考えるが、令和4年度の予算編成と予算執行のなかでどう応えていくのか。</p> <p>(2) 「つながり」について</p> <p>町長と町民のつながりではなく、町民と町民、町民と地域のつながりこそ大切と考えるが、町民の交流の場であったなぎ</p>

	<p>さの祭典（花火大会）、スポーツフェスタ、文化祭は令和4年度予算ではどうなっているのか。</p> <p>(3) カーボンニュートラルについて</p> <p>地球温暖化への危機感を表明したことは評価したい。しかし決意だけでは何も前に進まない。令和4年度の予算編成において具体的に何に取り組むのか。まず、町にできることは気候非常事態を宣言し、町の全政策に渡り総合的な環境負荷軽減の取組みを進めるべきではないのか。</p>
<p>4</p> <p>8 番 鈴木 京子議員 (40 分) 11:20~12:00</p>	<p>令和4年度予算案について、以下の項目について問う。</p> <p>(1) 予算編成において、多様な要望をどのように積み上げ理事者決裁に至ったのか。どのくらい削った予算なのか。</p> <p>(2) DX実現は、ひとりも取り残さない形で進むのか。政策課題の解決の場づくりをどのように進めるのか。</p> <p>(3) コロナ感染防止で、行事や会合の中止が相次いでいるが、感染防止策と行事の実施や健康づくりをどう両立するのか。</p> <p>(4) 大磯駅前の安全・安心は当初の町の考えから離れたが、それでも進めるのか。JRとの課題は解決したのか。</p> <p>(5) 中学校昼食補助はコロナ禍の時期だけなのか。適切な方法と考える理由は何か。中学校給食実施との関係をどう考えればいいのか。</p> <p>(6) コロナ対策、国の施策対応、大磯町社会福祉協議会など次々に起こる問題、課題対応で職員の仕事量は増々増えている。経済観光分野なども含めて考えると、職員を増やすしかないのではないか。また、働きやすい職場環境と、町民から頼りにされる職員の資質向上をどう図るのか。</p>
<p>5</p> <p>7 番 奥津 勝子議員 (40 分) 13:00~13:40</p>	<p>令和4年度予算施政方針のもと、総括質疑を行う。</p> <p>「町民の皆さんの協力もいただきながら、町の発展に向け持続可能な行政運営に力を注ぐ決意のもと、令和4年度予算を編成した。」と言われた。</p> <p>令和3年度から引き続きの重点的取組みでの子育て、教育、健康、経済、安全・安心について伺う。</p> <p>(1) まず子育てでは、町立保育園において「連絡機能」と「管理機能」等を持つ保育アプリの導入の進め方は。 育児や家事支援ヘルパー訪問事業の進め方は。 幼児教育・保育の無償化への町独自の支援策の進め方は。</p> <p>(2) 教育では「教員の働き方改革」として教職員の業務効率の向上を目的にICT化の検討をどう進めるか。旧吉田邸を活用し、中学生を対象に「将来の大磯町を語り合う」夏休み体験学習をどう実施するのか。</p> <p>(3) 健康については、高齢者の誰もが交流できる「通いの場」事業を発展させるといいますが、どのように進めるのか。</p> <p>(4) 経済については、令和3年度からスタートしている「大磯らしい潤いづくり協議会」による「食べる」、「買う」、「泊まる」といった消費行動へつなげる多様な取組みを支援し、地域経済循環の更なる活性化を図るとあるが、具体的な事業は。</p>

	<p>(5) 安全・安心については、新型コロナウイルス感染症の拡大により孤立している世帯や個人が増えると懸念される昨今、「地域のつながり事業」が大事と私も思うが、事業の進め方は。</p> <p>(6) デジタル技術を活用しながら施策や事務事業の変革に取り組むとあるが、その具体性は。</p>
<p>6 15 番 渡辺 順子議員 (40 分) 13:40~14:20</p>	<p>オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の拡大で我が国経済の先行きが不透明な中、今後の厳しい財政状況を踏まえた予算編成であったと推察する。町長の施政方針に対して、予算に必要なコスト意識、事業の優先度や公共性に着目し総括を行う。</p> <p>(1) 住民一人当たりの純資産額、純資産比率、社会資本等の世代間負担率、住民一人当たりの負債額など、その分析を予算編成にいかしているか。</p> <p>(2) 人口減少やコロナ感染症の影響による新たな生活様式に対応する地域づくり、定住人口の安定化に向けた取組みはどのようなか。</p> <p>(3) 大磯町第五次総合計画前期基本計画・令和4年度実施計画書との整合性や第2次行政経営プランにおける歳入確保と歳出削減の両面から、財源確保は十分にできているか。</p> <p>(4) 高齢者が住み慣れた地域で安心してサービスが受けられるためには、町が主体となる体制づくりが急務である。課題を抱えた高齢者福祉にどう向き合い取り組むのか、その決意は。</p> <p>(5) 令和4年度の大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業予算に1億2,300万円を計上しているが、事業の全体像と最終目標をどこに置くのか、事業期間、総事業費概算も見えてこない。このままで進めてよいと考えているのか。</p> <p>(6) 令和3年度からスタートしている「大磯らしい潤いづくり協議会」による「食べる」、「買う」、「泊まる」といった消費行動へつなげる多様な取組みを支援し、地域経済循環のさらなる活性化を図るとのことだが、持続可能な経済循環となるポイントをどのように捉え、取り組んでいくのか。</p> <p>(7) カーボンニュートラルに向けては、国の「2030年までに温室効果ガスを2013年比で46%削減」に倣うのか。大磯町環境基本計画での「カーボンネガティブ」とは。</p>
<p>7 3 番 石川 則男議員 (40 分) 14:35~15:15</p>	<p>1. 令和4年度の予算にある庁舎建設について 庁舎建設に当たっては、もっと町民を巻き込んだ議論と町民の納得度が重要であり、大磯町民が日本一と誇れる庁舎を建設すべきと考える。</p> <p>(1) パブリックコメントに対し、「基本構想(素案)の策定時には、説明会場とともにオンラインにより参加可能な町民説明会を開催しております。」と町は回答している。</p> <p>議員を除けば、午前午後の2回合計で、会場参加者は1名、オンライン参加者は7名と極めて少ない。告知の仕方、場所の設定に問題はなかったのか。今後、説明会をどのように進めていくのか。</p>

- (2) 現庁舎を昭和46年に建設し、昭和56年新耐震基準の建築基準法が改正され、昭和62年町が現庁舎の耐震評価を行った。その調査では、構造耐震指標(Is値)が低いところでは、X方向0.15、Y方向0.21となっている。平成7年の阪神淡路大地震を受けて平成12年建築基準法耐震強化が追加された。平成13年～14年現庁舎の耐震改修を行った。その時の仕様書では目標Is値は0.5以上で、工事は目標通りできた。平成23年(2011年)の東日本大震災の年6月議会において、一般質問に中崎町長は「本庁舎機能不全を想定、すべての指令本部を新しい場所にもっていかねばなりません。」と答弁しているが、なぜ現庁舎の場所なのか。
- (3) 平成28年(2016年)熊本地震の時も6月議会一般質問に対し、「現庁舎について数値以上の耐震性が確保されているとの報告を受けています。」と答弁している。これに対し、質問者は「わかりました。建物全体として耐震性は保たれているということで、ことさら、現在本庁舎の耐震補強は必要ないということですね。」と念を押しているが、なぜ急に安全性が確保されていないと言いついたのか。
- (4) 平成29年(2017年)度に「市町村役場機能緊急保全事業債創設」で政府が行った庁舎事業費の22.5%の支援を活用しなかった理由を聞きたい。
- (5) 明治記念大磯邸園事業が決定し、開園の準備が進んでいる。明治以降多くの政財界人が邸宅を構えた明治記念大磯邸園内に庁舎ができれば他自治体ではまねのできない大磯らしい庁舎建設の可能性が膨らんでくるのではないのか。
- 以上の点について疑問を持つが、町長の見解を問う。

2. 令和4年度の予算にある駅前整備計画について

- (1) 駅前整備計画について、最終案について町民の理解を得るべく、どのように進めていくのか。

3. 令和4年度重点施策子育てについて

- (1) 大磯幼稚園民営化について、保護者や町民の理解を得るべく、どのように進めていくのか。

7名 10問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。